

人と地域を笑顔でつなぐ

社協だより せんだい

vol25

令和7年12月1日発行



点字版発行

点字版を発行しています。
詳しくは本会事務局
(最終ページに記載)に
お問合せください。



福祉委員さんがお子さんを見守ってくださるため
ママたちに好評です♪

主な内容

特集

第60回仙台市社会福祉大会を開催！
～社会の移り変わりとともに歩んだ60年～ …P2
ともに生き、支えあうまち
～各区・支部から地域の魅力発信！～ …P4
地域生活の安心を支える終活支援を目指して …P7
まもりーぶ生活支援員を募集しています ……P8

今号の写真

子育てサロン「あらまきのもり」

毎月第2金曜日に荒巻地区社協で開催。保健師による相談や保育士・児童館の職員による親子ふれあい遊びなどがあり、サロンの最後はママの自分の心と体を見つめる10分間のストレッチタイム！ママたちの居場所となっています。

社会福祉協議会(社協)とは

「地域福祉の推進」を図ることを目的とした団体です。仙台市社会福祉協議会は「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティア等の協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな福祉事業を進めています。



この「社協だより せんだい」は、社協会費および
赤い羽根共同募金により発行しています。

仙台市社会福祉大会を開催！

「社会の移り変わりとともに歩んだ60年」

「仙台市社会福祉大会」は、多年にわたり本市の社会福祉の発展に功績のあった団体・個人の方々をたたえて表彰し、感謝の意を表するとともに、福祉のまちづくりを一層推進していくことを目的に開催しており、今年で60回目という記念すべき節目を迎えました。



▲さまざまな出会いからの学びを語るロバートキャンベル氏。あつという間の1時間でした。

◀会場全体がお祝いムードに包まれました。

福祉のまちを支える力に

感謝を込めて

仙台で観測史上最高気温の37・4度を記録した令和7年9月2日、トークネットホール仙台(仙台市民会館)において第60回仙台市社会福祉大会を開催しました。会場には、受賞された皆様をはじめ、来賓の方々や福祉関係者など約400名の方々にお集まりいただきました。

第一部の式典では、郡和子仙台市長をはじめ、各福祉団体の代表者がプレゼンターを務め、17名の受賞代表者に表彰状ならびに感謝状が贈呈されました。

受賞された皆様には、心よりお祝い申し上げます。



郡市長(左)から感謝状を贈呈された民生委員児童委員の谷口加寿子さん

人への好奇心が
支えあう社会への第一歩

第二部は、今年の4月から「せんだいメディアアテーク」の館長を務めているロバートキャンベル氏による記念講演。

当日は、東京での会議を終えた後、その足で新幹線に乗り、会場に駆けつけてくださいました。

講演のタイトルは、『「ちがいを」持つ人々との豊かな出会いに向けて』と題し、「人への好奇心を持つことが共助につながる」と福祉のまちづくりにも通じるお話でした。また、大会の直前まで訪問されていた戦時下のウクライナの話や能登半島の被災地で芸術家の方々と交流された話等、さまざまな場所に自ら足を運んで感じたことをお話しいただき、会場の皆様はその貴重なお話に真剣に耳を傾けていました。



ロバートキャンベル氏 プロフィール
日本文学研究者・早稲田大学特命教授
「サンデー・モーニング」(TBS)のコメントーターをはじめ、さまざまなメディアで活躍中。今年の4月からせんだいメディアアテーク館長に就任。

仙台市社会福祉大会

60回のあゆみ
60回記念ポスター展

社会福祉大会の当日、会場の一角に展示ブースを設け、60回を記念したポスター展を開催しました。

ポスターには、これまでの大会の内容に当時の社会情勢も交えた年表と、大会の記事をまとめた社協だよりのバックナンバーを掲載。一番古い社協だより(昭和45年1月発行)には、当時の島野武仙台市長の姿もあり、懐かしく感じられた方もいたようです。



展示した内容は、本会ウェブサイトに掲載しています。左記二次元コードよりぜひご覧ください。

社協だよりで振り返る仙台市社会福祉大会



昭和44年(第4回)仙台市社会福祉大会 社協だより(昭和45年1月発行)より



昭和61年(第21回)社会福祉大会
社協だより(昭和61年11月発行)より



平成7年(第30回)社会福祉大会
社協だより(平成7年11月発行)より

記念すべき第1回は、昭和41年9月に仙台市公会堂(現・仙台市民会館)において開催されました。当時は、仙台市長や各福祉団体の代表者から社会福祉功労者への表彰、各福祉団体からの体験・意見発表、大会決議の採択といった三部構成で行われていましたが、平成に入ってから、表彰式典と記念講演の二部構成に形を変え、今に至っています。

記念講演には、毎回多彩な講師をお招きし、俳優の財津一郎さんや牟田悌三さん、高橋元太郎さん(水戸黄門のうっかり八兵衛)、真屋順子さんなど、多くの著名人にも講演いただきました。近年では、新型コロナウイルスの影響で中止や規模を縮小して開催することもありましたが、今年の大会で晴れて60回目を迎えることができました。

皆様の声で、 もっと身近な社協だよりへ

本紙第24号(8月1日発行)に掲載したアンケート調査には、36件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。貴重なご意見・ご感想をたくさんいただきましたので、一部ご紹介いたします！

◆掲載されていた研修会に参加したいと思った。
◆地域の状況やまちづくりに取り組んでいる事例を記事にしてほしい。

今回いただいたご意見・ご感想を踏まえ、皆様に愛されるような、より良い紙面づくりに努めます。引き続きご意見・ご感想等ございましたら、最終ページの連絡先または本会ウェブサイトよりお寄せください。

アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で10名様に「aiちゃん」グッズをお送りしました。



本会ウェブサイトはこちら





ともに生き、支えあうまち

～ 各区・支部から地域の魅力発信！～

本会では、「第5次地域福祉活動計画(せんだいaiプラン)」を策定し、地域福祉活動の充実を図っています。計画の理念である「ともに生き、支えあうまち」を目指して、各地域で取り組まれている活動の様子を紹介します。

宮城支部

上愛子学区社会福祉協議会

看護学生と楽しく地域交流♪



*音楽リエゾンとは、音楽力と社会を"つなぎ"、音楽に関わる方向士を"つなぐ"ことで豊かな音楽文化を創る活動。

9月17日(水)、上愛子学区社協・西川前町内会「いけいけサロン」と東北文化学園大学看護学科がコラボした「地域交流会」が開催されました。

第一部は看護学生が考案した介護予防体操「童謡」さんぽ」の歌詞に合わせて、無理なく全身を動かせるような体操をしました。

第二部は、*音楽リエゾンの講師とともに、「青い山脈」学生時代」など懐かしの曲を合唱しました。歌詞に合わせて抑揚をつけたり、身振りをしたり、合の手を入れたり、音楽の授業を思い出すような楽しいプログラムでした。

第三部は、学生と参加者でグループコミュニケーション。

日頃の過ごし方や生きがい、地域の魅力等について学生から質問があり、参加者の皆さんは嬉しそうにご自身のこと、地域のことをお話していました。

最後に、学生の皆さんへの感謝を込めて、地域の方が「すいとん」を振る舞ってくださいました。

参加者からは「楽しくて時間が足りなかった」「地域外の人たちが来て、このようなプログラムをやってくれるのは嬉しい」などの感想があり、笑顔あふれる交流会になりました。



▲ すいとんを食べながら談笑♪

ニッカウキスキー株式会社 仙台工場

地域貢献活動の取り組み

作並地区にあるニッカウキスキー株式会社仙台工場では、ボランティア活動に参加した従業員の人数や時間をポイント化し、獲得ポイントに応じた金額を地元の団体に寄附するという地域貢献活動を行っています。

寄附先には、地域住民のために活動する団体を選定することとしており、令和4年度からは毎年、本会に温かいご寄附をいただいております。

従業員の皆様は、作並駅など工場周辺地域のごみ拾いはじめ、「広瀬川1万人プロジェクト」河川・海岸一斉清掃への参加など、環境美化活動に取り組まれています。

ボランティアに参加した従業員の皆様からは、「清掃を通じて、身近な環境を自分たちで守ることの大切さを実感できました」「沿道でのごみ拾いをしていると、通りかかりの車から『がんばって!』と声をかけていただくことがあり、思わず手を振り返ってしまうほど嬉しいです」今後も地域の二員と



▲ 広瀬川1万人プロジェクトに参加された従業員の皆様



▲ 工場周辺のごみ拾いの様子

八木山南地区社会福祉協議会の取り組み

誰もが安心して暮らせる街づくりのために

八木山南地区社協では、誰もが安心して暮らせる街づくりのため、さまざまな事業を展開しています。

“世代を超えたおつき合い”として、年1回八木山南公園にて開催する餅つき大会には、さまざまな年代の方々が参加。担い手として、有志で集まった中学生ボランティアと、その保護者も活躍しています。この地区では、ボランティアを募集するとたくさんの中生が手を挙げるなど、ボランティア精神が育まれていることが感じられます。



▲ みんなで餅つき！



秋には芋煮会も開催し、一人暮らしの高齢者を対象に配食サービスを実施。「いざという時に頼ってもらうには、普段から顔が見える関係性づくりが大切」と地区社協の藤原会長は話します。こうしたイベントなどをきっかけに、支援が必要な方や、地域福祉活動に興味はあるものの、どのように活動したらよいか分からない方などに、地区社協活動の周知を続け、地域の輪を広げていきます。



また、地元の社会福祉法人との絆も深く、「坂が多くて買い物に行くことが大変で困っている」という住民の声に応え、施設のマイクロバスを活用した買い物バスツアーも行い、毎回好評とのこと。

八木山南地区では、今後も地域の声に耳を傾けながら、さまざまな取り組みを行っていききたいとのことでした。



国立病院機構仙台西多賀病院

ボランティアさん活躍中!!

太白区鉤取本町にある仙台西多賀病院では、神経難病、筋ジストロフィーなどの入院患者さんの活動をお手伝いしてくださる学生、社会人のボランティアを受け入れています。

活動内容は患者さんの車いすの清掃や散歩、詩作などの個別活動や、患者さんのサークル活動(押し花や合唱等)の支援など多岐にわたります。

ボランティアとの交流は、ご家族や病院職員以外の方とつながりを持つことが難しい患者さんにとって、大変貴重な時間となっています。



▲ ペーパークラフト活動のお手伝い!

▼ 季節の押し花でハガキと一緒に作ります



▲ ボランティアさんが車いすをピカピカに!

患者さんたちは「車いすをきれいにしていただいて嬉しかった」「学生ボランティアさんのレクリエーション、クイズが楽しかった。また来てほしい」と話しており、活動を楽しみにしていました。

仙台西多賀病院としては、初めてボランティア活動を希望する方には、オリエンテーションを行い、無理なく活動を継続いただけるよう、丁寧な調整を心掛けているそうです。

こちらのボランティア活動にご興味のある方は、お気軽に仙台西多賀病院(TEL245-2111)までお問い合わせください。

▼ ぽかぽか陽気に花の植え替え作業!





#伊達な地域スナップ写真



地域活動の魅力を写真でお届けします。今回は“地域サロン”の様子です。

#青葉区

通町地区社協 いきいきサロン



今回はフレイル予防がテーマでした😊



健康増進センターの職員と一緒に、声を出しながら楽しく元気に体操💪

地域包括支援センターから介護予防教室などの紹介がありました✨



#宮城野区

宮城野地区社協 ますます健康教室



玄米を詰めた手作りのダンベルで準備運動♪



ストレッチや音楽に合わせたリズム体操を通して楽しみながら健康づくり!

#若林区

南小泉お茶っこサロン



南小泉町内会南小泉ブロック主催で月1回町内会館にて開催

社会福祉士を目指す実習生も参加しました✨



お茶のみ、将棋、麻雀など参加したいものを選べます♪最後はみんなで楽しくボッチャ😊



#泉区

館三丁目サロン

今回はダーツに初挑戦!
みんなで競いながら楽しく過ごしました😊



南光台東部地区社協 ドレミの会

地域の方が曲の解説や伴奏を行っています。
この日は10曲以上歌いました♪



地域生活の安心を支える

終活支援を目指して

〓 仙台市社会福祉協議会の取り組みとこれから〓

高まる「終活」への関心

近年、「終活」という言葉を耳にする機会が増え、テレビや雑誌でも頻繁に取り上げられるようになりました。

本会では、市民の皆様が安心してこれからの人生を歩めるよう、成年後見制度の利用支援や、講座・セミナーの開催などにより終活支援に取り組んでいます。



受講者の声

- 情報過多の時代、必要な情報が再確認できて良かったです。
- 参加したことで、家族と話をするきっかけができました。
- 今日の内容を参考に、できることから進めていこうと思います。
- できるだけ早くすることが大切なんだなと思いました。
- いろいろ整理するのに健康で長生きしないといけないなと思いました。

「知りたい」に答えるため、さまざまな終活講座・セミナーを展開

「終活」と一口に言っても、その内容は多岐にわたります。財産のこと、医療・介護のこと、そして身の回りの整理など、関心のあるテーマは人それぞれです。

本会が運営する老人福祉センター等で開催している講座・セミナーにも多くの方に参加いただき、関心の高まりがうかがえます。

取り上げられた内容(例)

- 終活が求められる背景
- 終活の全体像・関連項目の基礎知識
- 遺言書の作成方法・保管方法
- エンディングノート
- 身辺整理・断捨離
- 医療・介護
- 葬儀・お墓
- デジタル終活
- 成年後見制度
- 家族信託
- 相続・死後事務 など

本会では、市民の皆様の「知りたい」に応えようと、さまざまなテーマで講座・セミナーを企画・実施しています。

誰もが最期まで「その人らしく」生きられる社会を目指して

本会は、「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念としています。そうした中、終活は「人生の最終章を、ご自身の望む形で、そして周囲の人たちと共に豊かに締めくくるための大切なプロセス」と捉えています。

まずはお近くの地域で開催される講座・セミナーにぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

終活に関する講座・セミナーについての問合せ先

事業経営課 TEL 22312023

本会ウェブサイトにて終活に関する講座やセミナーの予定を掲載しています。



今回の終活セミナー

「元気なうちに知っておきたい成年後見制度について」

日 時：令和7年12月19日(金)
13:30 ~ 15:00
会 場：仙台市大野田老人福祉センター
住所：仙台市太白区大野田5丁目23-5
(地下鉄南北線富沢駅から徒歩5分)
対 象：60歳以上の仙台市民
定 員：30人(先着順)
申込み：12月6日(土)9時30分から
電話でセンター(TEL247-1005)へ
※詳しくはセンターへお問い合わせください。

募集中

日常生活に支援が必要な方々の
気持ちに寄り添う活動

「まもりーぶ生活支援員」

仙台市権利擁護センター(まもりーぶ仙台)のご利用者様を支援する
のが「生活支援員」です。

あらかじめ本会職員(専門員)が作成した支援計画に基づいてご利用者様とお会いし、一緒に郵便物を確認したり生活費等をお届けする等の業務を行います。

いっしょに
活動しませんか

本センターでは、生活支援員(非常勤職員、活動費支給あり)を募集しています。詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

応募資格

以下のすべてを満たす方

- 仙台市内在住の方
- 福祉の事業や仕事について、関心と意欲をお持ちの方
- 平日、週2〜3日程度活動可能な方
- 市内全域で活動が可能で、自家用車を使用できる方
- 所定の研修を受講できる方

相談・問合せ先

仙台市権利擁護センター(まもりーぶ仙台)

TEL 217-11610

受付時間 平日9時30分〜16時

こちらから、募集案内を
ご確認ください

心温まるご寄附をありがとうございました

(令和7年7月1日〜令和7年10月31日 順不同、敬称略)

寄附金をいただいた皆様

- ツクイ仙台八乙女
- 鉤取二丁目親和会
- エースユニテッド(株) 代表取締役 沢田 元一郎
- 鎌田 眞吾
- (有)ハーバーコーポレーション 亞呉屋仙台店
- ニッカウキスキー(株) 仙台工場
- 協業組合仙台清掃公社 理事長 山田 政彦
- あいあーる親善チャリティゴルフ大会参加者一同

- 王神
- (宗)東泉寺
- 泉手をつなぐ親の会
- 匿名(個人3件)

物品をいただいた皆様

- (株)メガネの相沢 代表取締役社長 相澤 久美子
- 匿名(個人2件)

スマホからも
寄附できます！
詳しくはこちらを
ご覧ください

発行



社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

仮移転先住所 (福祉プラザの休館に伴い、令和6年12月から仮移転先にて業務を行っています。)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台7階 TEL:022-223-2010(代表)

青葉区事務所

〒980-0802
青葉区二日町4-3
仙台市役所二日町分庁舎1階
TEL:022-265-5260



Facebook ▲

宮城支部事務所

〒989-3125
青葉区下愛子字観音堂27-1
宮城社会福祉センター内
TEL:022-392-7868



Instagram ▲



Facebook ▲

宮城野区事務所

〒983-0841
宮城野区原町3-5-20
メゾン坂下1階
TEL:022-256-3650



Instagram ▲



Facebook ▲

若林区事務所

〒984-0811
若林区保春院前丁3-1
若林区中央市民センター別棟1階
TEL:022-282-7971



Instagram ▲



Facebook ▲

太白区事務所

〒982-0012
太白区長町南3-1-30
南部発達相談支援センター
(南部アーチル)1階
TEL:022-248-8188



Instagram ▲



Facebook ▲

泉区事務所

〒981-3131
泉区七北田字道48-12
泉社会福祉センター内
TEL:022-372-1581



Instagram ▲



Facebook ▲

次回予告 社協だより せんだい 第26号 令和8年4月1日発行予定

ホームページはこちら

仙台市社協

検索